



第23回「枚方の教育を語り合う父母・市民と教職員の集い」 保護者、保育現場、不登校、支援教育 「子どもの声・現実」から共同を広めよう

2月4日(土)、枚方総合文化芸術センター別館(旧メセナ枚方)において、第23回「枚方の教育を語り合う父母・市民と教職員の集い」が開催され、枚方教組からもパネラーも含めた参加で、保護者や市民から、子どもや教育現場の実態、学校や教育のあり方への率直な意見や疑問が交流されました。



枚方子ども会議、保護者・市民と 教職員の共同を広げる「教育の集い」

23回目を数える「教育のつどい」は、枚方の教職員組合や市民団体、個人がつくる「枚方子ども会議」によって、子どもを真ん中において率直な交流、意見交換を行い、共同を広げる場として、続けてこられました。

20年以上にわたる歴史の中で、枚方における大規模な学校統廃合問題や、少人数学級拡充を求める取り組みにも連携、発展して、大きな共同の輪を作り上げてきました。

学校と教育はいったいどうなっている？保護者・市民が強い関心、問題意識に

文科省・教育委員会が急速に進めるタブレット・ICT教育や、新しい学習指導要領による授業・教育内容の大転換に、保護者も不安や疑問がありながらも、押し流される中で声をあげる余裕もなくなっています。

集いに向けた会議の中で、学校現場の子どもの学習負担の大きさや、ICT・タブレットにかかわる問題点などを聞く中で、広くこれを交流・共有することで、保護者や市民も教育のあり方に関心を持ち、一緒に考えていこうと取り組んできました。

不登校、支援教育、多忙化・教員不足、上からの教育課題

子どもの実態にかみ合わない、教育施策、教育条件の改善を

今回の集いでは、全体講演で大阪教育大の福田敦志さんから「子どもが育つに値する学校とは」と教育の現状についての話の後に、学校現場、保育現場、不登校支援から、支援学級保護者など多彩な方面から、子どもや教育についての実態が交流されました。

特に学校現場からは多忙化で子どもに向き合う余裕がなくなっている一方で、個別の対応や支援が必要になってきているのに、今の学級定員、教員配置ではあまりにも不十分なことがリアルに出されていました。また、このような現場の実態にも関わらずに上から実施が求められる課題が子どもに噛み合っていないこと、ICT・タブレットのとりくみで、本当に子どもの成長に今優先すべきなのか疑問に思わざるを得ないことも少なくないことなどが語られました。

シンポジウムの終わりには、少人数学級拡充や教員増を始め直接子どもに関わる大人が交流し合い、共同できる点で一緒に声を上げていきたいと思いますと呼びかけられました。

1/28(土)「仲間を増やそう！ワークショップ型講演会」 コミュニティ・オーガナイズिंगを活かした関係づくり 目からウロコ！のつながりづくり、運動づくり

枚方教組は、1月28日(土)に「仲間を増やそう！ワークショップ型講演会」を開催。アメリカを中心に、女性運動、人権・反貧困運動など「弱い」立場の多数の人々の力を引き出し、社会を変える運動の作りかたである、コミュニティ・オーガナイズिंगを活かした関係づくり、運動づくりを学ぶことができました。

前回に引き続き、大阪府職労の小松委員長を講師に、講義だけではなく、ワークショップ形式で、周りの人への働きかけ方、関係構築の進め方を学ぶことができました。

目からウロコの、つながりづくり、運動づくり

ワークショップ、講演会の中で、従来の組合の運動の進め方など、執行部中心に方針を決めて、署名や集会参加を求める運動ではなく、現場の組合員、教職員が直面し、関心の高い課題を、組合員・教職員の声に耳を傾け、要求を引き出していく中で運動を作り上げていくことが重要であることが強調されました。

さらに、運動やつながりを広げる際にも、性急にこちらから～してほしいと打ち出すのではなく、相手の思いを受けとめて、聞き出すことを重視する中でこそつながりができるという点についても、ワークショップ形式で学ぶことができました。

まさに、目からウロコのつながりづくり、運動づくりの学習になりました。

参加した組合員の活力、エネルギーに

参加した組合員から、

「いつもこちらから～してとばかり言っていた。相手の思いや気持ちを汲み取り、本当の要求を引き出すことの重要性が学べた」

「なるほどこうすれば、みんなの力を集めて、目の前の状況を変えることができるかもしれない、そんな希望が持てた」

「ぜひ、これを生かして、職場の組合の取り組みや職場づくりに生かしたい」

など、積極的な意見は反応がたくさん出されていました。

つながりづくり、運動づくりを進め、教職員組合活動をさらにパワーアップしていくために、引き続きこのような学習会やワークショップに取り組んでいきます。

降雪による通勤困難には特休が適用できます

1月25日の積雪で、路面凍結や交通機関の混乱が起これ、バスが来ずに通勤でも歩いて1時間かけて出勤、歩いていても転倒しながらも出勤したという声が各職場から出てきています。

この出勤困難の事態に対して、中には、時給を取って対応するなどの事例も聞かれています。しかし、自然災害等にかかわる通勤困難に対しては、必要な時間、日数について特休が適用されます。さらにこの特休については、市教委等の申請・認可ではなく「校長専決」で適用することが可能です。この点を知らずに、時間休等を取得している場合でも、さかのぼって、特休への振り替えが可能です。

2/1(水)分会長会議 グループ討議で活発な意見や交流、 「もっと枚方の職場・働き方をこんな風に変えていきたい」

2月1日(水)には、分会長、組合員集会を開催、グループ討議を中心に、執行部からの課題の説明だけでなく、参加者に「枚方の職場や働き方を変えていくためのアイデアをみんなで出し合ひましょう」と呼びかけ、活発な意見や交流が行われました。

参加者の発言・交流中心の会議へ 「組合の会議に参加して良かった」

会議の初めに、菅書記長から会議のスケジュール・進め方が示され、長くなりがちな執行部の説明を少なくして、参加者が職場で直面している課題や困難、思いを出し合う中で、どんなことができるかというグループ討議を中心に進めました。

会議終わりの感想・振り返りでは「仕事の在り方に矛盾感じながらも、職場ではなかなかできない話が、組合の会議でたがいに聞けたり、自分の思いも出すことができ、もやもやが晴れた。会議に参加してよかった」と積極的な反応がたくさん聞かれました。

「教職員の方から、職場・働き方をこんな風に変えたい」を発信・実現していこう

とりわけ、教員不足、多忙化解消については行政の側も有効な方策や見通しが持っていない中で、現場の教職員から「こんなこともできるのではないのか」「ほかの職場、他市ではこんな風になっている」といった交流を行う中で、どんなことができるのをだしあって、みんなの力で実現させていきたいと思います。

これを受けたグループ討議では、こんなことも実現できるのではないか、みんなのアイデアを集めるために、こんな取り組み出来ないか、といった意見が次々と出されて、会議が終わった後も残って、具体的な取り組み実現のために参加者からの意見が続いていました。

教員不足問題、教育活動の維持が困難な事態に

採用試験定員割れ、担任不在でクラス解体、新採教員の途中退職増加

全国の教員不足の深刻な実態がマスコミなどでほうどうされ、教育活動の維持さえ困難に直面していることが明らかになってきています。学校現場の実態を根本的に対策することなく、ICT・タブレット教育を初めとした上からの課題や成果を求める教育行政のあり方そのものが問われています。

熊本県 23年度採用試験 定員180名 合格者169名

(1次試験の受験者数は205人で、2次試験受験182人。)

大分県 23年度採用試験、採用見込み数200人に対し、受験者数は198人と異例の「定員割れ」に。合格者数は159人と採用見込み数を大きく下回った

沖縄県 教員不足で代替講師が確保できず、担任不在クラスの生徒を他のクラスに振り分けたケースが県内で21件(2023年1月に明らか)

東京都 新採教員、年度途中退職が増加、2021年度は3134人の新採教員で、125人が年度途中で退職(大半は自己都合)

マスコミでも教員不足にかかわる報道が次々と出てきています。とりわけ、異常な長時間勤務や、時間外手当が支給されない中で、教職を敬遠する傾向が顕著になってきていることが特徴的になってきています。沖縄県のように、欠員を補充できずにクラスを解体して他クラスに振り分けざるえない実情など、教育活動の維持さえ困難な事態に直面しています。新採を始め20代教員の精神疾患の休職も増加してきています

上からの業務の大胆な削減と学校の自主性の拡大とともに、少人数学級拡充、教員増が急務です。

全教(全日本教職員組合)の枚方教職員組合のニュースです

第34回青年フェスタ 対面で開催!

2月12日(日) 9:00~16:30 たかつガーデン(大阪府教育会館)

(地下鉄谷町九丁目、近鉄上本町)

9:30~「レポート講座」 小・中高・支援教育の分科会、青年の先生2人ずつがレポート発表

10:45~「実技講座」 算数、作文、工作、絵本、性教育の5つの講座

《算数》	《作文》	《ものづくり・工作》	《絵本》	《性教育》
何森 真人さん (岸和田市小学校/ 数学研究協議会) 子どものつまずきに 寄り添った算数の授 業をしませんか?	土佐 いく子 さん (元大阪市小学校/ なにわ作文の会) 書く力・聞く力を育てる取 り組みを、具体的な作文 を通して学びます!	名和 秀幸 さん (子どもの遊びと手の労働 研究会) 子どもたちとワクワクしなが ら、「ものづくり・工作」をいっ しょに体験してみましょう!	たちばな ゆひ さん (俳優) 絵本を通して子どもたちと ステキな時間を共有しませ んか?いつもとは違った視 点で絵本を見つめます!	津田育久子 さん (助産師) 助産師のご経験から、 お話いただけます! 「命」や「生きる」をテー マに、いっしょに考えま しょう!

13:30~「記念講演」

「男らしく?女らしく?いいえ、あなたらしく
~イロトリドリな性の世界~」

講師 光本豊治さん(弁護士・人権活動家)



15:00~「グループ交流会」 (記念講演のこと、青年フェスタに参加して..など
などで楽しく交流しましょう)

※ 16:00~閉会式&大抽選会

会場で各民間教育サークルの紹介、教材紹介もあります

参加は右のQRコードから前日までに申込みを **参加費無料**

詳しくは枚方教組ホームページをご覧ください

あなたも枚方教組に

教育のこと、働き方のことみんなで交流して学びましょう
一緒に力を合わせて、目の前の課題を解決していきましょう

全教・枚方教職員組合は、多彩で活発な取り組みを進めています。

教職員にとって重要な権利、労働条件の情報、教育の動きをいち早く知らせ、

教育と教職員をまもっていこうと取り組んでいます。

ぜひあなたも枚方教組に加入して、一緒に学習・交流し、取り組みを広げましょう。

組合加入申込みQRコード ⇒



枚方教組に加入して学校や働き方を変えていきましょう